



平成 17 年度 いわてまちづくり支援事業実施団体決定

ご応募いただいた7団体の中から、まちづくり活動の状況、今後に繋がる可能性などを検討した結果、最終的に次の5団体にまちづくり支援事業を委託することとしました。

委託業務の目的はそれぞれ異なりますが、地元の皆さんが意見をまとめて発表しあう、ワークショップや、まちづくりに関するセミナー等の勉強会を開催することが主な活動となります。

団体によって、特色のある活動を展開して下さることを期待しています。

事業名	委託団体名	対象地	事業の目的	事業の概要
地域住民による美しいいわてづくり事業	特定非営利活動法人ソーシャルデザインサポート	盛岡市、滝沢村、花巻市、胆沢町	住民参加による美しいいわてづくりを目指す	セミナー、研究会、景観ハンドブックの作成
盛岡に馬車を走らせる実験事業	馬をめぐる地域まるごと体験交流連携事業実行委員会	盛岡市河南地区	新たな交通手段としてエコロジーな「馬車」を復活させ、観光資源としても活用しながら地域の活性化につなげる方策の可能性を探る	セミナー、ワークショップ、ミニ実験（馬車の運行）
西部地区ふれあいまちづくり事業	西部地区商店連合会	釜石市中妻町、上中島町	リサイクル活動をきっかけとして、まちづくりを考えるコミュニティを創出する	セミナー、ワークショップ、リサイクル事業
蔵を活かした滞在型観光地形成事業	特定非営利活動法人ETC	江刺市六日町、川原町、中町、一日市町	これまでのまちづくりの方向性と実践活動のズレや、これからの方向性について討論し、今後のまちづくりの共有イメージを作り上げる	討論会、ミニ実験（路地裏景観向上）
一戸町まちの日通り活性化事業	一戸町商工会	一戸町まちの日通り	商店街と道路空間という暮らしの場を魅力的な空間として有効に活用する方策を探る	ワークショップ、ミニ実験（道路空間活用）

まちづくりは、まちの使い手である住民等による強いコミュニティ意識の下、街並みの保存や再生、コミュニティ・ボランティア活動などを含めた総合的・複合的な活動によって始めて実現されると考えます。

住民の思いや願いが反映されたまちは継続的に維持、管理され、豊かな暮らしの場として発展していくものであります。そして、これからの人口減少や高齢化社会においては、そのような活動の場として、今ある社会資本ストックを有効に活用していくことが重要です。

この活動支援事業では、行政との協働により自らが住む地域を道路等の既存の公共空間と一体的に住み良い魅力的な空間としていきたいという思いや願いはあるが、具体的な行動にまで至っていないという、住民やNPOのまちづくりの「種」を、次のステップの「芽」にまで育てることにに対して支援するものであります。

『まちづくり』は、地域住民が協働して、あるいは地方自治体と協力して、自らが住み生活している場をコミュニティに合った住み良い魅力のあるものにしていく諸活動です。また、これからの人口減少や少子高齢化社会において、そのような活動の場として、今ある社会資本ストックを有効に活用していくことが重要です。

